

生物活用

教 科	農 業	単 位 数	2 単 位	学 科・学 年	園芸科学科・2 年
使用教科書	生物活用（実教出版）				
副教材など	プリント				

科目の概要、到達目標

- 園芸の活用がもたらす具体的な効果について、生活の中から考えられるように学習します。
- 園芸デザインの基本知識を身に付け、フラワーアレンジメント、コサージュの制作ができるようになります。
- 草花や野菜、ハーブの栽培方法を理解し、様々な活用方法を考えられるように学習します。
- 生物を利用した交流プログラムの立案、実施ができるように学習します。

学習計画、自己評価

期	月	学 習 内 容	学習のねらい	自己評価	
前 期	4	園芸の活用 第1章 生物活用の意義と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・生物活用とは何か ・私たちの暮らしと園芸 ・季節に応じた野菜栽培 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちがとりまく社会的背景から生物活用の意義と役割を理解する。 ・暮らしの中での園芸の活用方法を考え、その効果を理解する。 	()
	5	第2章 生物を活用した療法	<ul style="list-style-type: none"> ・生物を治療に活用する ・園芸療法とは 	<ul style="list-style-type: none"> ・QOLを理解し、生物を利用した園芸福祉について理解する。 ・園芸福祉と園芸療法の現場についてその概要を理解する。 	()
	6	第3章 園芸作物の栽培と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜、ハーブの栽培と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベジタブルガーデンや野菜の加工、貯蔵方法について理解する。 ・ハーブの種類と特性について理解する。 	()
	7		<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナガーデンの活用 ・草花の栽培と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇苗を用いたコンテナガーデンを制作する。 ・室内園芸装飾の目的と制作方法を理解する。 ・特殊な方法による室内園芸装飾について理解する。 	()
	8			<ul style="list-style-type: none"> ・園芸デザインについての基本を理解する。 	()
	9				()
	10	第3章 園芸作物と栽培と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・生け花とフラワーデザインの概要を理解する。 ・フラワーデザインの基本形を理解する。 ・切り花の正しい扱い方を理解する。 ・フラワーデザインに使用する資材の正しい扱い方を理解する。 	()
	11	第5章 生物活用の実際	交流活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・交流プログラムの基本を理解する。 ・様々な対象者に対応した交流プログラムを立案する。 	()
	12	第3章 草花の栽培と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーアレンジメントの基本とバリエーション ・シンビジウムを使用したコサージュ制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーアレンジメントの基本形を制作する。 ・ツーポイントコサージュの作り方を理解して制作する。 	()
1				()	
2				()	

評価の観点、方法

- 定期考査、提出物（ノート、レポートなどの課題）、学習の状況と発表（内容、方法、態度）について、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4観点から評価します。
- 生徒の自己評価や相互評価についても行います。

定期考査の範囲、課題

前 期	中間考査範囲	
	期末考査範囲	
後 期	夏休みの課題	
後 期	中間考査範囲	
	学年末考査範囲	
	冬休みの課題	